

未来を創る 思いを引き継ぎ、市民生活を守る。

七尾市議会
2023報告

山崎 ともゆき



七尾市議会YouTubeチャンネルより

能越道・七尾バイパスの整備の加速を

企業誘致・観光振興だけでなく救急・防災など「市民生活の向上」へ。

- ・ 能越自動車道
- ・ 七尾外環状道路
- ・ 国道七尾バイパス

の3点セットを整備し、朝夕の渋滞解消や七尾港のアクセス向上のみならず、救急救命や災害対策など「市民の命」を守るため、国省市の関係強化を。

用地取得率は81%

田鶴浜七尾道路の病院西―七尾―C

七尾市議会一般質問

七尾市議会定例会9月会議は13日、本会議を再開し、2氏が一般質問した。市側は、整備中の能越自動車道田鶴浜七尾道路の病院西―七尾インターチェンジ（IC）間の3・4キロについて、用地取得率が3月末で81%（前年48%）となったとし、早期整備に向けて秋に再度、国などへの要望会を行うとした。

山崎智之氏（灘会）が質問した。

令和5年（2023年）9月14日（木）
北國新聞 朝刊 23面

問した。同区間は2020年に着工し、現在は七尾―C周辺の地盤改良や笠師川

の橋の下部工事を進めている。16日には能越道輪島道路のと三井ICの通を控え、三野助樹建設部長は、予算獲得の正念場、好機であり、必要であれば何年度も要望会を実施する」と説明した。

山崎氏は北陸新幹線敦賀延伸に伴い、和倉温泉駅まで乗り入れている特急「サンターバード」が敦賀止まりになることも取り上げた。関係各所へ乗り入れ維持を要請したかとの質問に対し、市側は「行っていない」とした上で、金沢駅での乗り換え時間短縮に向け、地元関係団体と連携し必要に応じてJRに働き掛けるとした。

バイパスの 早期整備を

山崎智之氏（灘会）七尾バイパスの早期整備を。

三野建設部長 国が未整備区間1・6キロの道路設計を進めている段階で、早期整備を要望する。



山崎氏 雇用や子育てなど市民生活を守る施策への考えは。

茶谷市長 「第2期七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に見直す。

令和5年（2023年）9月14日（木）
北國新聞 朝刊 23面